

2018年度 PDセミナー

v2018.04.19
designed by  freepik.com

大学教員の役割は、研究・教育・社会サービス・管理運営の全面にわたり、キャリアステージによって、求められる能力も異なります。また、大学職員の仕事も定型的な業務だけでなく、課題の分析や企画の構想、マネジメントも求められるようになりつつあります。

東北大学高度教養教育・学生支援機構は、大学教職員の専門性開発（Professional Development: PD）に必要な4領域「高等教育のリーダー」「専門教育の指導力」「学生支援力」「マネジメント力」を設定し、セミナーやワークショップを開発・提供しています。



教育関係共同利用拠点「知識基盤社会を担う専門教育指導力育成拠点」
東北大学高度教養教育・学生支援機構

大学教育支援センター TEL 022-795-4471 Email cpd_office@ihe.tohoku.ac.jp URL www.ihe.tohoku.ac.jp/CPD

高等教育のリテラシー関連（コード L）

5月21日（月）13:00-17:00
第28回東北大学高等教育フォーラム「主体性」とは何だろうか
—大学入試における評価とその限界への挑戦—
西郡大（佐賀大学 教授）、千葉栄美（青森県立田名部高等学校 教諭）、石井裕基（香川県立観音寺第一高等学校 教諭）、有山智雄（開成中学・高等学校 教諭）、宮本友弘（東北大学高度教養教育・学生支援機構 准教授）
平成 19 年の学校教育法改正によっていわゆる「学力の三要素」が法制化されました。その一要素に含まれる「主体性」とは何を指すのでしょうか。高校と大学に突き付けられた課題と今後の展望を描くことを試みます。

8月3日（金）13:00-17:10
アカデミックリーダーのためのインストラクショナルデザイン
鈴木克明（熊本大学 教授）
インストラクショナルデザインとは、学習ニーズの分析とシステムティックな授業の設計を行うことです。本セミナーでは、ワークショップを通して、より良い学習の環境を総合的にデザインすることを目指し、人はいかに学ぶか、学習とは何かという問題の解決の糸口となるであろうインストラクショナルデザインの基礎的知識を学びます。

8月28日（火）13:30-16:30
授業デザインとシラバス作成
串本剛（東北大学高度教養教育・学生支援機構 准教授）
シラバスの数ある機能のうちでも、特に授業デザインの小道具としての側面に注目し、1 学期（15 回）分の授業について、教育目標・教育学習活動・学習成果の把握を構造化することの重要性、ルーブリックによる評価について学びます。

9月14日（金）13:30-15:30
授業づくり：準備と運営
邑本俊亮（東北大学災害科学国際研究所 教授）
学習者が集中し、十分に理解できるような授業をつくるためには何に留意し、どのような準備をして、いかに授業を展開すると良いのでしょうか。本セミナーでは、1 回の講義形式の授業を念頭に置き、学習者の認知面・心理面から授業づくりについて学びます。

専門教育での指導力関連（コード S）

12月4日（火）13:30-16:40
コーチング技能を活用した学生指導
出江紳一（東北大学医工学研究科 教授）、倉重知也（株式会社イグニタス 代表取締役）
コーチングとは、深い理解とスキルを身に着けるために、教師がモデリングに続き、課題を実行している学生にヒントや挑戦を与えたり、動機づけ、励まし、対話を行う活動です。コーチング技術の開発に取り組んできた出江先生らにワークショップ形式で学びます。

1-2月開催予定
科学技術力を左右するSTEM教育の国際動向～分野固有の専門性を習得するアクティブラーニング～
近年、大学教育の学習成果が厳しく問われ、社会人基礎力等汎用的能力が重視される傾向にあります。しかし、学問を基盤とする大学教育は、分野ごとの専門知識と汎用的能力を一体的に育成する必要があります。本セミナーは、その方法論として、北米の STEM（Science, Technology, Engineering and Mathematics）で発展する「分野別教育研究」（DBER: discipline-based education research）の有効性を紹介します。

学生支援力形成関連（コード W）

10-1月開催予定
健康科学セミナー（4回シリーズ）
最近の健康科学の進歩は目覚ましく、その進歩を踏まえた健康科学の概略を知ることが、教員が「健康な生活習慣形成の指導」を行うために必須です。本セミナーでは、健康科学全般からのトピックス、学生・教員を脅かす疾患を中心に計 4 回の講演を予定しています。

その他

授業期間中 月1・2回開催予定 12:10-12:50
正午PD会
本会は、東北大学高度教養教育・学生支援機構が主体となって、機構内外の教員・スタッフの互いの研究・教育・業務内容の発表・ディスカッションを通じ、多様な人材の交流によって、組織としてその能力を発揮することを目的としています。本会は、機構外にも公開しています。多くの方が参加できるようランチタイムに実施しており、食事や飲み物持参でご参加いただけます。

マネジメント力形成関連（コード M）

4月28日（土）13:00-15:00
大学における教育と学習の評価
木村拓也（九州大学 准教授）
大学における学習評価の手法として、アセスメントテスト、ルーブリック、ポートフォリオなどが挙げられます。本セミナーでは、これらの評価手法について学ぶとともに現在の活用事例から自大学における活用について考えます。

4月28日（土）15:30-17:30
ラーニング・アナリティクスの可能性
緒方広明（京都大学 教授）
ラーニング・アナリティクス（LA）とは、学習活動に関する膨大なデータを収集、分析し、学習者の評価への利用や成績と学習行動との相関関係を明らかにし、学習者の将来の能力予測、課題の発見、教育の改善などを行う手法のことです。本セミナーでは、LA の基礎的知識としての機能と活用について学びます。

7月開催予定
SDPシリーズ 第1回 大学経営の危機と経営人材の育成
18 歳人口減と公財政事情により大学の経営環境が厳しさを増す中、科学技術の地位低下への歯止めと教育の質保証に加え、イノベーションや地方創生への貢献が求められる今日、大学経営人材の育成は、オールジャパンで取り組むべき課題となっています。本セミナーでは、経営人材に係る課題を把握し、育成体制について議論します。

8月4日（土）10:00-12:00
大学におけるカリキュラム・マネジメント
杉谷祐美子（青山学院大学 教授）
高等教育における「質保証」、「質的転換」が求められる現在、教育目標の実現、達成のためにカリキュラムマネジメントへの期待が高まっています。そこで、本セミナーでは、カリキュラムマネジメントの考え方を概観するとともに、組織目標達成のためのカリキュラムマネジメントの活用可能性について考えます。

8月4日（土）13:00-15:00
大学の戦略策定と経営
篠田道夫（桜美林大学 専任教授）
大学を取り巻く環境の厳しさが増すなか、大学運営の高度化が求められています。本セミナーでは、ビジョンや戦略の策定、それに基づく中期目標の策定・実質化などで成果を上げている豊富な大学事例を踏まえ、今後の大学経営のあり方を考えます。

10月開催予定
大学の組織マネジメント～全学的に一体感ある改革を求めて～
柳澤康信（岡山理科大学 学長）
学長を中心としたガバナンスの必要性が指摘されていますが、日常レベルの教学マネジメントには、執行部や経営層だけでなく、教員や職員幅広いメンバーによる参画が求められ、とりわけ教職協働の推進が求められています。大学職員に期待される専門的役割も踏まえつつ、教職協働のあり方について考えます。

11月開催予定
IDEセミナー
このセミナーは、大学教育に関心を有する国公私立大学等の教職員を主な対象として、当面する諸課題について情報共有及び検討を行い、各機関において教育・学生指導の改善・充実を図ることを目的にしています。

12月開催予定
SDPシリーズ 第2回 認証評価と内部質保証
土屋俊（大学改革支援・学位授与機構 教授）、工藤潤（大学基準協会 事務局長）、伊藤敏弘（日本高等教育評価機構 事務局長 / 評価研究部長）
機関別認証評価は第 3 期を迎え、内部質保証は重点評価項目としますますます重要視されています。本セミナーでは、3 つの認証評価機関から講師陣をお招きし、「内部質保証」の考え方を今一度整理し、内部質保証を「システム」として構築し、機能させていくとはどういうことかについて、その実践や課題を学びます。

前期・後期開催予定
若手職員のための大学職員論
今日、教員と共に学生の学びを支援する職員自身も、主体的に学び、自らの能力を高め、キャリアを形成していく力が必須です。本セミナーでは、大学の今後を担う若手・中堅職員が、ひととき現場を離れ、大学の垣根を超えて他大学職員と共に省察や議論を行う中でさらに成長していくきっかけを提供します。